

社会資本整備審議会道路分科会 第31回東北地方小委員会
【議事録（要点）】

1. 日 時

令和2年10月 9日（金） 13:30～15:00

2. 場 所

東北地方整備局 仙台合同庁舎B棟 13階 水災害予報センター

3. 出席委員

菊池 輝	東北工業大学 大学院工学研究科 教授
小林 正明	（一社）東北経済連合会 専務理事
浜岡 秀勝	秋田大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授

4. 議事内容

□審議結果

【災害に強い国土幹線道路ネットワークについて】

- ・今回のネットワークについては概ね妥当とされた。

□主な意見

【災害に強い国土幹線道路ネットワークについて】

- ・自然災害の甚大さを実感しており早期復旧の観点は重要であり、事前防災の観点からも道路ネットワーク整備を進めてほしい。
- ・想定を超える自然災害が頻発しており、これまでと異なる対応が求められている。
- ・新型コロナウイルスへの対応の一つとして、地方分散の動きがあり、受け皿としての社会インフラ整備が重要となっている。
- ・ネットワークの検討にあたり、空港、港湾、鉄道など他の交通モードとの連携が重要。
- ・地震や津波、風水害、雪害等、個々の災害に対して機能が発揮されるネットワークになるように今後の検討を進めてほしい。
- ・トンネルなど道路自体が被災を受けない構造を取り入れるなど、今後の計画段階評価において「防災」の視点を加えてもらいたい。
- ・空港や港湾との連携が災害復旧の観点から重要であり、高規格道路と拠点のアクセス向上が重要。